

地域の実情に応じた在宅医療・介護連携とは ～成果と課題、今後の展望～

令和6年

7月20日 土

午前8時30分 ▶ 午前10時

会場

幕張メッセ国際会議場
3F 会議室302

申込

申込みは
大会WEBページ
から



※大会の参加登録の他に、ワークショップの事前予約をお願いします。当日、席に余裕があれば、予約無しでも参加いただけます。

セッション概要

在宅医療・介護連携は、市町村の介護保険事業として、地域の状況に応じて多様な形で実施されています。大都市では、専門の組織が設置されることもありますが、小さな市町村の多くは、他の事業と一体的に実施されています。事業の創設から概ね10年が経過し、状況も大きく変化しています。本ワークショップでは、研究者と現場担当者のほか、参加者も交え、これまでの成果と課題を踏まえて、地域の実情に応じた在宅医療・介護連携のあり方や今後の展望について議論します。

座長

千葉市在宅医療・介護連携支援センター 久保田 健太郎

一般社団法人Neighborhood Care 吉江 悟

演者

ニッセイ基礎研究所 三原 岳

船橋市在宅医療支援拠点 ふなぼーと 佐々木 ゆかり

多古町保健福祉課 平野 香



日本在宅医療連合学会大会

在宅医療分野で日本最大の学術団体が開催する学術大会であり、医療専門職だけでなく、介護専門職や自治体職員など、在宅医療介護に関係する様々な職種が参加します。本大会は、「在宅医療を紡ぐ」をテーマに、医療・介護に関する多職種連携の更なる高みを目指しています。在宅医療・介護に関する最新の知見を学べるほか、全国の仲間に出会えるチャンスです。介護関係者や自治体の担当者の皆さまも、お気軽に参加いただければと思います。